

決算審査特別委員会における施策評価報告書

令和元年10月定例会の決算審査特別委員会において、平成30年度における市の6施策22評価対象事業について、施策目標の実現手段として有効な事業であるかどうかの施策評価を行いました。

評価は「推進」・「改善・見直し」・「抜本的見直し」の3段階評価とし、委員間の討議により評価を決定したうえで、委員会の意見を評価説明として集約しました。

施策評価報告書

評価施策	①文化財の保護と活用の推進	評価	A
	1 「人」輝くがまちへ 0 1文化・芸術の振興	5 市民文化 ③文化財の保護と活用の推進	
施策概要	発掘調査をはじめとした各種の文化財調査を推進するとともに、市内に残る歴史資産の実態を解明し、その成果を公表します。また、国指定史跡等の地域と一体となった保存整備、文化財指定の推進、伝承者への支援など積極的な保存対策を講じます。		
評価対象事業	具体的な評価コメント		
埋蔵文化財発掘調査事業	本事業は法に定められたものであるが、コストの適正化に努め、効率よく実施されたい。なお、南草津プリムタウン等の発掘調査で得られた成果を広く市民に公開し、まちの歴史を大切にする意識の向上に努めること。		
宅地開発等関連遺跡発掘調査事業	埋蔵文化財発掘調査事業と同様に、発掘調査の成果を歴史を大切にするまちづくりに活かす視点を持って取り組まれない。		
史跡草津宿本陣整備事業	<p>史跡草津宿本陣は後世に伝えるべき重要な建造物であることから、しっかりと保存と整備に努めること。</p> <p>なお、本市のまちづくりにとって重要な史跡であり、その活用にあたっては地域と一体になることへの視点を持ち、商工観光部門等と十分に連携して進めること。</p>		
文化財保護助成事業	<p>文化財の防火・防犯に関しては、特に防犯の取り組みを強化する支援と、大切な文化を後世につなぐ意識の醸成のようなソフトの面からも取り組まれない。</p> <p>民俗文化や文化財の承継は、所有者および管理者の負担が非常に大きいことから、負担軽減の方策を検討することと、併せて後継者や担い手の不足が課題であり、行政も継承者の育成支援にも取り組まれない。</p>		
史跡芦浦観音寺跡整備事業	<p>計画策定の業務委託にあたっては、職員の負担軽減を主目的とすることなく、適正な費用対効果やコストの削減を十分に検討すること。</p> <p>草津を代表する貴重な文化財であるが、整備については課題があると認識する。老朽化が進み、台風被害を受けた本史跡の保存と活用は、今が最後のチャンスと捉え、予算措置等も検討し、課題を乗り越えてしっかりと取り組まれない。</p>		

施策評価コメント

本件については、昨年度の文教厚生常任委員会の所管事務調査でも指摘したが、老朽化が進んでいたところに台風被害を受けた史跡芦浦観音寺跡については、国への予算要望も含め必要な予算措置を行い、早急に適切な保存に努められたい。また、文化財の活用にあたっては、全庁的な連携を図りながら、まちづくりに活かすという、市の宝を後世にどう残し、どう活用していくのかという視点をもって積極的に取り組まれたい。

評価A	施策は、この方向で進める。
評価B	施策の推進に向けて改善・見直しが必要
評価C	施策の推進に向けて抜本的、見直しが必要

施策評価報告書

評価施策	②子ども・子育て支援、ネットワークの充実	評価	A
	2 「安心」が得られるまちへ 6 子ども・子育て 0 1切れ目のない子育て支援 ③子ども・子育て支援、ネットワークの充実		
施策概要	子育て支援センターやつどいの広場等を通じて子育て支援に係る様々な情報や、交流の場を提供するとともに、これを支える関係団体等のネットワークを強化します。		
評価対象事業	具体的な評価コメント		
育児等支援家庭訪問事業 (すこやか訪問事業)	本事業は、子育てに不安を抱える保護者の支援のみならず、虐待の早期発見や防止にも有効な手段であることから、課題や問題のある家庭に対しては、家庭児童相談室と綿密に連携して支援に繋がられるよう取り組まれない。		
草津っ子サポート事業	本事業は窓口案内や広報等により対象者に制度が浸透してきていることから、継続して制度周知に取り組むとともに、今後も市民ニーズを的確に把握しながら十分な対応ができるように努められたい。		
つどいの広場事業	本事業は継続するべきと評価するが、対象事業の施設が近く1つになる予定であることから、今後も子ども・子育て支援法に定める「ひろば型」として継続するのか「センター型」とするのか、立地における必要性や市民ニーズ等の分析および実態の把握につとめ、地域子育て支援拠点事業全体の中での位置づけを検討されたい。		
子育て支援センター運営事業	本事業は利用実績が伸びており、子育て世帯からのニーズがあると考えられる事業であるため、継続して取り組まれない。 また、関係機関のネットワークの充実にもよりつとめられたい。		
子育て支援拠点施設運営事業	本事業については、当初の見込みを超える利用者数があるが、多様な目的で利用されている実態も見られることから、今後は、子育て支援拠点施設であることを念頭に、適切な運営に努められたい。 特に、保護者が子育ての不安を軽減できるよう、一次的な相談ができる施設としての機能強化に取り組まれない。		

施策評価コメント

この施策を構成する各事業は子育て支援のための交流の場の提供や訪問事業であり、虐待の早期発見や相談につながるきっかけに有効かつ重要な事業であることから、常に目的を意識し継続して進められたい。

また、孤立している家庭や虐待の恐れのある家庭等に対して、各関係課が隙間なく連携し早期に対応できる支援体制の構築にも引き続き取り組まれたい。

さらに、「困難な状況にある子どもを一人も取り残さない」という意識を持って、継続した支援ができるよう、各事業および各所属が連携して切れ目のない子育て支援に取り組まれたい。

評価A	施策は、この方向で進める。
評価B	施策の推進に向けて改善・見直しが必要
評価C	施策の推進に向けて抜本的、見直しが必要

施策評価報告書

評価施策	③認知症対策の推進	評価	A
	2 「安心」が得られるまちへ 7長寿・生きがい 0 2 あんしんできる高齢期の生活への支援 ②認知症対策の推進		
施策概要	認知症サポーターの養成等を通じて、認知症についての理解と支援の広がりをつくるとともに、医療機関・地域包括支援センター・サービス事業所・地域とのネットワークを強化することで、早期の支援体制の構築を図ります。		
評価対象事業	具体的な評価コメント		
認知症施策推進事業	認知症サポーター養成講座の受講者数が既に目標に達するなど、多くの市民に認知症に対する基礎的な理解が広がっていることは高く評価する。一方で、ステップアップ講座の受講者数はまだ少ない現状である。今後、地域支援のネットワークの構築を目指し、認知症があっても安心の地域づくりの要となつて頂けるように、これらの受講者がさらに増加するよう事業の周知等に取り組みたい。		
認知症総合支援事業	認知症があっても安心して地域で暮らせるための事業として評価している。 初期の認知症対応の制度があっても、地域の見守り等の中で、認知症のある方への気付きがあつた時に、どこにつなげばよいのか分からない市民も多いと思われるので、窓口である地域包括支援センターの存在や役割を名称等の工夫によりわかりやすくする工夫を検討されたい。		
施策評価コメント			
両事業とも、認知症対策の推進にとって有効な事業であると考えが、認知症に関する知識や地域包括支援センターの存在や支援体制に関する理解について、接点が無い方の認知度が低いと、さらに周知を図り、認知症に対する理解の広がりが求められる。特に様々な世代に認知症の正しい知識や理解をしていくことが安心な地域づくりにつながるため、幅広い世代へのサポーター講座の実施につとめられたい。 また、認知症対策を地域包括支援センターに任せきりにすることなく、地域全体で取り組めることができる仕組みづくりをさらに推進されたい。			
評価A	施策は、この方向で進める。		
評価B	施策の推進に向けて改善・見直しが必要		
評価C	施策の推進に向けて抜本的、見直しが必要		

施策評価報告書

評価施策	④道路施設の長寿命化と維持管理	評価	A
	3 「心地よさ」が感じられるまちへ 1 7道路・交通 0 1安全・安心な道路の整備 ⑤道路施設の長寿命化と維持管理		
施策概要	日常的な維持補修や道路パトロールによって道路を維持管理するとともに、橋梁等の道路施設については、修繕計画に基づいた点検・修繕を行います。		
評価対象事業	具体的な評価コメント		
道路維持補修事業	<p>国の交付金の減少など財源確保の課題はあるが、早期に補修箇所を発見し、適切に維持管理されるよう努められたい。</p> <p>なお、道路補修や長寿命化工事に当たっては、長期的な費用対効果も念頭に、より高性能なアスファルト舗装の技術を導入するなど、恒常的に見直しを図られたい。</p> <p>また、計画的な道路補修に当たっては、優先順位や必要性等、市民に合理的に説明できるよう努められたい。</p>		
道路パトロール事業	<p>パトロールについて河川課と合同で実施することで経費削減に努めていることは評価する。</p> <p>市道における事故が無いよう、アプリの導入を始め、市民による道路補修箇所の通報が早期発見、早期対応につながる仕組みづくりへの検討を継続して図られたい。</p> <p>また、職員にあっては、通勤時や公用車運転時に、補修が必要な箇所を担当課に通報するよう引き続き啓発されたい。</p>		
施策評価コメント			
<p>両事業とも、道路施設の長寿命化と維持管理にとって必要不可欠であり、道路の補修箇所の早期発見、早期補修が重要である。これに充てる財源には限りがあることは理解するが、今後も合理的に優先順位をつけて、計画的に進められたい。</p> <p>また、補修工事に使用する材料や手法等について、長期的なコスト比較を行い、施設の長寿命化に向けた手法を検討されたい。</p>			
評価A	施策は、この方向で進める。		
評価B	施策の推進に向けて改善・見直しが必要		
評価C	施策の推進に向けて抜本的、見直しが必要		

施策評価報告書

評価施策	⑤基礎的コミュニティ活動の支援	評価	B
	4「活気」があふれるまちへ 20コミュニティ・市民自治 02基礎的コミュニティの活性化 ①基礎的コミュニティ活動の支援		
施策概要	良好な地域社会の形成、住民福祉の増進、住民主体のまちづくりのさらなる推進を図るため、町内会や自治会など住民自治組織の活動を支援します。		
評価対象事業	具体的な評価コメント		
行政事務委託事業	<p>行政事務委託料の算出根拠となる加入世帯数については、正確な把握に努められたい。</p> <p>また、行政事務委託については、町内会長等の役割や町内会活動の実態の把握に努め、現在、依頼している業務の負担軽減につながる見直しを検討されたい。</p>		
草津市自治連合会活動補助事業	<p>現在の事業内容は感謝状の贈呈が主になっているが、連合会は、自治会活動の振興につながる事業を行うべきと考える。</p> <p>市内には、すでに自治連合会を置かない学区もあり、補助金の趣旨が分かりづらくなっているので明確化されたい。</p>		
コミュニティハウス整備補助事業	<p>本事業は、地域コミュニティの活動の場である集会所の新設・維持等に大きく貢献していることから、引き続き進められたい。なお、法の改正等により防火・防災の面で改善等が必要となる事例もあるので、時代のニーズに応じた新たな補助メニューや使い勝手の良い制度となるよう検討されたい。</p>		
コミュニティ振興事業	<p>本事業は、コミュニティ活動の支援に有効に活用されていることから継続して取り組まれたい。</p>		
コミュニティ活動初期備品整備補助事業	<p>事業としては継続するべきと評価するが、利用実績が少ない現状に鑑み、新しい町内会のニーズに合うような使い勝手の良いメニューとなるよう工夫を検討されたい。</p>		
自治会活動保険加入補助事業	<p>各町内で実際に保険が適用された事例等の把握に努め、他の町内会への情報のフィードバックや共有が必要と考える。</p> <p>また、町内会が積極的に加入できるよう補助制度のあり方を検討されたい。</p>		

施策評価コメント

この施策を構成する各事業は、いずれも地域コミュニティの形成や住民主体のまちづくりの推進であり重要であるので、有効な支援として継続して進められたい。

その為にも、自治会がどのように運営され、何を課題とされ、何を行政に求められているのか、十分な把握に努められたい。そのうえで、従来の手法や内容にとどまるのではなく、各支援事業については、使い勝手の良い、時代や市民ニーズに合うような改善・見直しをされ、かつ補助事業の適切な運営にも努められ、基礎的コミュニティの維持・発展を支援されたい。

評価A	施策は、この方向で進める。
評価B	施策の推進に向けて改善・見直しが必要
評価C	施策の推進に向けて抜本的、見直しが必要

施策評価報告書

評価施策	⑥産学公民との協働によるまちづくりの展開	評価	B
	4「活気」があふれるまちへ 02多様な交流活動の展開 ①産学公民との協働によるまちづくりの展開	21情報・交流	
施策概要	大学等と行政による共同研究や産学公民との協働により、複合化した課題に対して取り組み、様々な市民活動とともに新たな活動の創出を図りながら、まちづくりを展開します。		
評価対象事業	具体的な評価コメント		
共同研究推進事業	<p>共同研究は、未来研究所がある、という本市ならではの施策展開であり、地域性を活かすための重要な取り組みと評価する。については、研究テーマの選定が重要なカギとなるため、課題把握等、庁内でのコンセンサスが得られ活かすことを意識するよう、十分な精査検討が必要である。</p> <p>その上で、研究成果が、市の施策等にどのように活用・反映されたのかを継続的に把握、検証をして、今後の研究の質的向上につなげられたい。</p>		
アーバンデザインセンター運営事業	<p>事業目的や成果等について、市民への認知度は未だ不十分である。賃料を含め運営コストが多額であるからこそ、費用対効果を明らかにするため、利用者数等、現在の成果指標は見直し、事業の到達点が見えるような指標の設定を検討されたい。</p> <p>法人化については、設立当初の目標設定に照らして、今後、具体的に課題整理を行いながら、具体的な目処も含め、適切な方向性を検討されたい。</p>		
施策評価コメント			
<p>各事業については、市として独自性のある有効な事業と考えるが、成果の活かし方を含め事業成果が見えづらいことから、成果指標の設定に当たっては、定量的なものではなく事業のめざすゴールを明らかにした上で、現在の達成状況を示すような指標への見直しが必要と考える。</p> <p>また、アーバンデザインセンターについては、産学公民それぞれの立場が新たな発想を生み、波及効果が期待されるプラットフォームであることから、今後は、特に「産」との連携を強化し、その機能が十分に果たせるよう、費用対効果を含めて改善見直しが必要である。</p>			
評価A	施策は、この方向で進める。		
評価B	施策の推進に向けて改善・見直しが必要		
評価C	施策の推進に向けて抜本的、見直しが必要		